

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2

【「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。だからこそ、学校教育以外の部分である、子どもが社会で生きて行く力を育むための「社会教育」の機会が提供されている状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

・天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。
 ・区内人口の約44%が40歳未満で子どもや子育て世代が多い。（平成27年国勢調査）
 （参考）

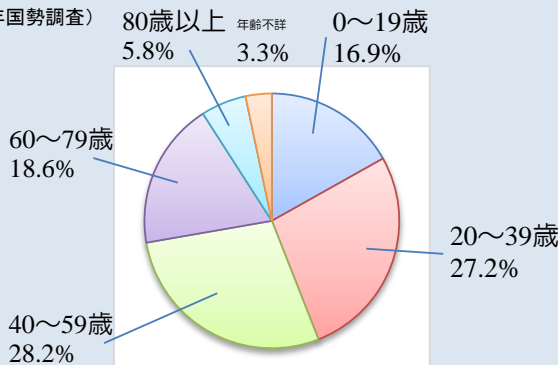
・0～19歳人口割合は 24区中5番目：平成27年10月1日現在（平成27年国勢調査）

【平成27年度 学校基本調査】

中学校数 9校（24区中4番目）
 中学校生徒数 5,528名（24区中2番目）
 高等学校数 12校（24区中1番目）
 高等学校生徒数 16,002名（24区中1番目）
 高等学校生徒数は、市全体の約20%を占める。

【待機児童数】

・平成28年10月1日時点
 天王寺区 29人
 ・平成28年4月1日時点
 天王寺区 27人
 市全体 273人（24区中3番目に多い）
 ・平成27年4月1日時点
 天王寺区 11人
 市全体 217人（24区中8番目に多い）



【平成28年度第1回区政評価員アンケート】

防災やまちのにぎわいなど7つの事業分野のうち
 子育て支援を優先する事業として捉える人が多い。
 (1位)子育て支援 417ポイント (2位)防犯 316ポイント
 (3位)地域福祉・健康 291ポイント
 回答者数 298人
 優先する事業分野を1位から3位まで
 選択、それぞれ3ポイントから1ポイントを付与し算定

【平成28年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】

天王寺区では子育て施策・人材育成施策への拡大の声が大きい
 (1位)子育てスタート応援事業《拡大52%》 回答者数241人
 (3位)英語交流事業《拡大27%》 回答者数327人
 (4位)中高生向けインターンシップ《拡大26%》 回答者数327人

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

・教育に対する意識の高い保護者、地域と連携して、これまで努力してきた結果、私立の高等学校など多くの学校園が集積していると考えられる。
 ・区において子育て施策・人材育成施策への期待度が高い。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

・子どもへの教育投資のさらなる促進。
 ・社会教育の充実や子育て世帯の負担緩和など、地域特性を活かした未来を担う人材の育成の強化。
 ・子どもの体験活動への参加機会が減少傾向にあることから、子どもや青少年が、様々な体験、世代を越えた交流の機会や地域でのつながりづくりなどを通じて、心身ともに健やかに成長できるような環境整備。
 ・グローバル社会で生きていく力を養う学習機会の提供。
 ・地域福祉の課題を検討し、その課題を克服するための具体的な取組を「天王寺区地域福祉アクションプラン」に基づき推進。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

・喫緊の課題となっている待機児童対策については、新たに保育園を開設し、平成30年4月時点の待機児童「ゼロ」を実現した。引き続き、全市的な取組と連携しながら、区内市有財産の活用など主体的に検討を進め、待機児童「ゼロ」の継続をめざす。
 ・子育て情報アプリ利用者満足度及び子育て情報博覧会参加者満足度に比して、子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合が低くなっており、効果的な周知方法を検討する必要がある。
 ・「日本一の文教『都市』」をめざし、区で取り組む未来を担う人材育成に関する事業は順調に執行できているが、参加希望者を対象としたものであり、区内児童・生徒全体の人材育成を効果的に進めるには、学校教育との連携をより一層すすめる必要がある。
 ・そのため、学校長・保護者等から教育に関する課題・ニーズを聴取し、区で実施する人材育成に関する事業や、校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)を活用した事業を、優先的に対処すべき課題・ニーズに有効に活用していくことが必要である。

めざす成果及び戦略 2-1 【地域の未来を担う人材の育成】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況					
	英対話講座参加者の満足度	78%	—	A		
	英語体験活動参加者の満足度	93%	93%	A		
	自分の将来に役立つと感じるインターンシップ及び職業講話参加者の割合	88%	—	A		
	乳幼児期から未来を担う人材育成が積極的に進められているまちな感じる区民の割合	64.5%	44.5%	A	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組 2-1-1 【グローバル人材の育成（英対話講座、英語体験活動 'Let's enjoy English'）】

		27決算額	4,051千円	28予算額	3,000千円	29予算額	3,000千円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	取組実績	課題					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策					
	戦略に対する取組の有効性	改善策					

具体的取組 2-1-2 【イノベーション人材の育成(中学生キャリア教育、中高生インターンシップ事業)】

27決算額 2,060千円 28予算額 2,085千円 29予算額 624千円

計画	取組内容	中学生キャリア教育 ・イノベーションを起こせる人材を育成するため、公立中学生を対象に大阪で活躍した企業家の実績を通じて“起業家”の生き方を知り、社会で必要となる力について学ぶ。 参加者 公立中学2年生(予定) 計3回(各校1回)	業績目標(中間アウトカム) 《中学生キャリア教育》 自分の将来に役立つと感じる参加者の割合 70%以上 《中高生対象職業講話》 自分の将来に役立つと感じる参加者の割合 90%以上 《中高生向けインターンシップ》 自分の将来に役立つと感じる参加者の割合 90%以上 【撤退基準】 各70%未満の場合には事業を再構築する。
	中高生対象職業講話	・社会の第一線で活躍する企業家の話を聞き、自ら関心のある分野の理解を深めるとともに、仕事を創り出す大切さ、社会で必要となる力について学ぶ。 2回実施	前年度までの実績 平成28年度 ・インターンシップ 参加者 14名 ※達成状況 100%
	中高生向けインターンシップ	・学校では学ぶことのできない社会で必要となるスキルを養うため、企業・事業所等の現場にて職業体験を積み、社会で生きていく力を養う。 インターンシップ受入先 5か所(参加者 15名程度)	平成27年度 ・インターンシップ 参加者 14名 ※達成状況 100%
			平成26年度 ・インターンシップ 参加者 10名 ※達成状況 90%

中高振り返り	業績目標の達成状況	② (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 ・職業講話について、「自分の将来に役立つと感じる参加者」の割合(82%)が目標を下回ったことに加え、インターンシップも公立中学生の参加申込みがなかったことから、分権型教育行政の観点を踏まえ中学校長と意見交換を行い、公立中学校のキャリア教育支援を中心とした取組へと再構築する。
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	中学生キャリア教育 2回 職業講話 2回(5講話) インターンシップ受入先 5か所(参加者 20名)	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 職業講話参加者について目標を下回ったこと、またインターンシップ参加者については目標を上回ったものの公立中学生の参加が少なかったため、公立中学校との連携が必要。
	業績目標の達成状況	自分の将来に役立つと感じる中学生キャリア教育参加者の割合 76% 自分の将来に役立つと感じる職業講話参加者の割合 82% 自分の将来に役立つと感じるインターンシップ参加者の割合 95%	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 職業講話及びインターンシップ(職業体験)について、公立中学校と連携する形に再構築し、本事業に関わる公立中学生を増加させる。
		② (ii)	
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 2-1-3 【次世代の地域担い手の育成】

27決算額 187千円 28予算額 331千円 29予算額 325千円

計画	取組内容	《天王寺区ジュニアクラブ活動》 学校・家庭・地域との協働により、小学校4年生から中学・高校生を対象に、地域行事へのボランティア参加や施設体験などを行う天王寺区ジュニアクラブの活動を支援する。 活動 年5回	業績目標(中間アウトカム) 今後も活動(ボランティア等)に参加したいという会員 90%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。
			前年度までの実績 平成28年度 活動回数 年5回(うちボランティア1回) ※達成状況 96%
			平成27年度 活動回数 年5回(うちボランティア2回) ※達成状況 96%
			平成26年度 活動回数 年5回 ※達成状況 95%

中高振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	ジュニアクラブ活動回数 5回(うちボランティア2回)	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	今後も活動(ボランティア等)に参加したいという会員 100%	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
		① (i)	
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 2-1-4 【子どもの将来のための投資の促進】

		27決算額	6,863千円	28予算額	12,725千円	29予算額	13,171千円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	天王寺区に生まれた子どもを持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして子育てスタート応援券（クーポン券：10,000円分）を交付する。 （平成29年度新規対象者数 804名）	子育てスタート応援券の利用率（人数ベース） 75%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	前年度までの実績					
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	平成28年度 交付 ※達成状況 71.2% 平成27年度 交付 平成26年度 交付開始					
自己評価	戦略に対する取組の有効性	—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				
	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
自己評価	子育てスタート応援券の交付 2,753名	利用率は徐々に増加している。引き続き、利用者のニーズに合致したサービスの充実が必要。					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
自己評価	子育てスタート応援券の利用率（人数ベース） 72.8%	利用しやすいサービスの追加、随時追加されたサービス内容の周知に加え、満1歳を迎えた対象者に利用動奨ハガキを送付するなど、利用率の向上を図る。					
	戦略に対する取組の有効性	○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				

具体的取組 2-1-5 【子育て世帯の支援体制の充実】★

		27決算額	2,183千円	28予算額	1,699千円	29予算額	1,310千円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	・虐待担当者・保育士・家庭児童相談員・保育コンシェルジュのチームが、保健師や栄養士と連携し、こどもの心身の発達・性格行動・しつけ等のさまざまな相談への対応、専門機関や保育所・幼稚園を含む地域の子育て資源に関する情報提供を随時行う。 ・スマートフォン等の情報端末に対応した天王寺区子育て情報アプリ「ぎゅっと！」により、子育てに必要な情報（区内の保育園や幼稚園、医療機関、イベント情報等）を養育者に随時配信する。 ・子育て支援施設やサービスの利用促進を図るため、子育て支援機関が子育て世帯に直接取組内容を説明する場を提供する「子育て情報博覧会」を年1回開催する。 ・市民サービスの向上を図るため、保健福祉課専属のフロアマネージャーを新たに採用し、来庁目的を聞き取ったうえで円滑に窓口案内する。	・子育て情報アプリ 利用者満足度 80%以上 ・子育て情報博覧会 200世帯参加、参加者の満足度 90%以上 【撤退基準】 ・子育て情報アプリ 利用者満足度が50%未満の場合、事業を再構築する。 ・子育て情報博覧会 60%未満の場合には事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	前年度までの実績					
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	平成28年度 ・子育て情報アプリ 機能強化（ホーム画面設置）※達成状況 94% ・子育て情報博覧会 平成28年8月実施 190世帯参加 ※達成状況 94% 平成27年度 ・子育て情報アプリ 機能強化（ツイッター連携、検索機能改善） ・子育て情報博覧会 平成27年9月実施 165世帯参加 ※達成状況 88% 平成26年度 ・子育て情報アプリ 平成27年2月配信開始 ・子育て情報博覧会 平成27年2月実施 141世帯参加 ※達成状況 65%					
自己評価	戦略に対する取組の有効性	—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				
	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
自己評価	児童相談件数 601件 子育て情報アプリ「ぎゅっと！」の通年配信 子育て情報博覧会の開催 1回 保健福祉課専属のフロアマネージャーの採用 1名	—					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
自己評価	子育て情報アプリ 利用者満足度 94.8% 子育て情報博覧会 287世帯参加、参加者の満足度 91%	①（i）					
	戦略に対する取組の有効性	○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				

具体的取組 2-1-6 【保育サービスの充実】

27決算額 ー 円 28予算額 ー 円 29予算額 ー 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	全市を挙げた待機児童対策の取組みの中、区の課題解決に向けた検討を主体的に行い、こども青少年局等と連携した取組を進めていく。	保育所待機児童の解消 【撤退基準】 保育所待機児童が解消されなければ、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度 平成28年4月1日時点待機児童数 27人 ・保育所本園整備1園 平成27年度 平成27年4月1日時点待機児童数 11人 ・保育所本園整備1園 平成26年度 平成26年4月1日時点待機児童数 21人 ・保育所本園整備1園 ・小規模保育施設の開設 1カ所

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		・出生数増加、世帯向けマンション建設による人口流入などにより、保育所入所申込み数が年々増加している。 ・全市を挙げた待機児童対策の取組みの中、区の課題解決に向けて、公有地等の有効活用の検討を主体的に行いこども青少年局等に提示するとともに、区独自の取組である「マッチング事業」にも取り組んでいる。
	戦略に対する取組の有効性	ー	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	区の課題解決に向けた検討を主体的に行い、こども青少年局と連携して保育所、小規模保育事業所を誘致した。 ※参考 ・保育所本園開設 1園 ・小規模保育事業所の開設 2カ所	ー
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	平成30年4月1日時点での待機児童数 0人	① (i)
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○
		○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)